



学生コーディネーター企画

ボランティア団体フェア
「サマボラ2019!」

報告

2019/07/03-04

ボランティア団体フェア「サマボラ2019!」

7月3日(水)、4日(木)の2日間、ボランティア団体フェア「サマボラ2019!」(以下、「サマボラ」)を開催しました。

「サマボラ」は、ボランティア活動希望が増える夏休みを前に、学生とボランティアを募集している学内外の団体が直接出会い、参加につながるきっかけをつくるイベントです。各団体によるブース出展に加え、今年も学生コーディネーター発案の特別企画を実施しました。

4年目を迎えた「サマボラ」ですが、今年は会場を変え、講堂大ホール前ロビーで初めて開催しました。雨が降る時間帯もありましたが、2日間で合計93名の方にご来場いただきました。

・準備編

本イベントは、学生コーディネーターが主体となり企画・運営をしています。ブース出展をお願いする団体は、首都大生のボランティアニーズをもとに学生コーディネーターが話し合っ決めてきました。その他、出展団体との連絡調整や会場レイアウト、チラシ・看板の製作など、役割を分担し、学生コーディネーターが主体的に当日までの準備を進めました。

特に、事前の広報については例年以上に力を入れて取り組みました。例年、学生の中には、「サマボラ」が開催されていることを知らず、学外の方と首都大で直接話せる機会を逃してしまう方が多くいます。さらに、今年はこれまでと会場が異なるため、学内にいても、「サマボラ」の開催に気付いていただけない可能性が高いのではないかと考えました。このような状況を鑑み、学生コーディネーターは、インフォメーションギャラリーや生協広場、講堂前、図書館前等でチラシの配布や開催告知を実施することで、事前に多くの学生・教職員に「サマボラ」の開催を知っていただく機会をつくりました。

・団体ブース

2日間で合計7分野13団体がブース出展をしてくださいました。ボランティアを募集している団体の主な活動分野は、「子ども」・「障がい児・者」・「国際」・「環境」・「スポーツ」・「路上生活者支援」・「復興・防災」と多岐にわたり、来場した学生が自身の関心に合わせてボランティア相談をしていただけるようになっています。

両日出展して下さった「八王子市立愛宕小学校」のブースには、多くの学生が相談に訪れており、中には相談後にその場で愛宕小でのボランティア活動に向けた学生もいたそうです。日頃から、ボランティアとして、首都大生を受け入れてくださっていますが、担当者の方は、「こんなに早く活動につながると思わなかった」と驚いておられました。

「NICE(日本国際ワークキャンプセンター)」のブースには、海外でのボランティア活動に関心のある学生が訪れており、長時間熱心に相談されている様子が印象的でした。

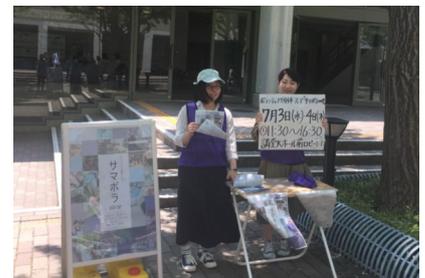


・特別企画

各団体によるブース出展に加え、首都大ボランティアの機運を高めるための特別企画として、『みて! やって! 楽しむ! ポッチャ』と『七夕』を学生コーディネーターが企画しました。

『みて! やって! 楽しむ! ポッチャ』は、東京2020パラリンピックの正式種目である「ポッチャ」を来場者の方に体験していただく企画です。スポーツボランティアプログラムと連携して実施し、プログラムのメンバーが運営を行いました。

「ポッチャ」は、2020年に向けて様々なメディアで取り上げられていることもあり、競技自体を知っている方が多くいらっしゃいました。しかし、実際に体験したことのある方はごく少数でしたので、今回の体験会が貴重な体験の機会となったようです。学生から丁寧な説明を受けた後、実際に競技を体験していただいたのですが、的玉にボールを近付ける難しさを感じながらも、「だれでもできる」競技の中にある、一投で局面が変わる戦略的なおもしろさを知り、楽しんでおられる様子が印象的でした。



開催前のチラシ配布



立て看板の製作



「みて! やって! 楽しむ! ポッチャ」



「七夕」

『七夕』では、願い事を書いた短冊を飾り付けられるよう、会場出口に竹を設置しました。この竹は松木日向緑地の学内認知度を向上させようと、松木日向緑地の竹林で地域ボランティアプログラムのメンバーが伐採したものです。

ボランティア相談だけでなく、この『七夕』ブースを自当てに来場した方もおられ、設置した竹は、多くの願い事で彩られました。

～来場者の声～

- ・「様々な話が聞けて良かったです」
- ・「新しいことを学べました」
- ・「前から気になっていた団体の話を聞けて良かったです」
- ・「就活が終わってちょうど時間がある時期だったので、タイミングが良かったです」
- ・「ポッチャが楽しかったです」
- ・「いろいろなボランティア団体の話が聞けて良かったです。何かボランティアを始めてみようかなと思いました」
- ・「参加してみたいという気持ちが高まった」

・「まだ興味のある分野が決まっていなかったので、非常に参考になるイベントでした！」

～出展団体・担当者の声～

- ・「今回初めて、その日の内にボランティアに参加された方がいてびっくりしました。今後もフォローしつつ、続けてもらえたらと思います」
- ・「改めて、対面にて学生の声を聞くことの大切さを感じました」
- ・「活動に興味をもってきている学生さんと直接話すことができ、情報交換できる場はとても貴重だと思います。ありがとうございました」
- ・「ブースへの来場者は少なかったのですが、熱心に話を聞いてくれる人が多くて良かったです」
- ・「自分たちの取組を発信する貴重な機会となりました」
- ・「思いのほか、多くの方がいらしゃったので良かったです」
- ・「ブースで1対1での相談の機会はありませんでしたが、貴重な経験になりました」



学生コーディネーターの声



『みて！ やって！ 楽しむ！ ポッチャ』の実施も3回目となり、競技説明や盛り上げ方もプロ並みになってきました。「楽しかった！」と喜んでくださる方や「悔しいからもう1回！」と何回も体験してくださる方など、多くの方がポッチャにはまっていく瞬間をつくることができ、私もとても楽しかったです。さらに、今回は東京2020パラリンピックのポッチャに関する情報を載せた看板も製作し、展示しました。様々な面からポッチャの魅力をお伝えできたと思います。

(神保 彩乃)



「サマボラ2019！」では、屋内で開催したこともあり、どのくらいの人がかかるのかといった不安もあったのですが、大学生だけでなく地域や教職員の方々にも来場していただき、とても嬉しく思いました。

特に、特別企画として用意した七夕の竹を見て、短冊に願い事を書きに来てくれた人もいて、ボランティアに興味のない人にもボランティアをアピールできる機会になったのではないかと思います。また、七夕を通して松木日向緑地の存在を広めることができ、とても良かったです。

(伊藤 沙季)

～出展団体 一覧～

主な活動分野	学外団体
子ども	八王子市立愛宕小学校 / 社会教育協会 ひの社会教育センター
高齢者	楽友会 ほのほの堀之内
国際	NICE (日本国際ワークキャンプセンター)
環境	JUON (樹恩) NETWORK
スポーツ	東京八王子ビートレインズ
路上生活者	スーパの会

主な活動分野	学内団体
子ども	SCOK (スコック)
高齢者・地域	&TMU~首都大学東京と南大沢と地域のあなた~
復興・防災	東日本きずなプロジェクト / 災害復興・都市防災研究室
環境	グリーンカーテン世話し隊

特別企画

「みて！ やって！ 楽しむ！ ポッチャ」 / 「七夕」



学生コーディネーターとして初めての活動が今回の「サマボラ」でした。今まで受け手だった立場から情報を発信する側になったということを強く感じました。当日は参加していただいたボランティア団体の方と交流することができたので、自分にとっても充実した経験になりました。

また、当日以外にも看板作りなどの準備やチラシ配りをしました。この効果が当日に反映されていたようだったので、小さな努力も結果として表れるということ強く感じました。

(藤井 万瑠美)